

平成30年度 第1回スポーツを通じた地域振興推進委員会会議録

日 時：平成30年10月5日（金）13時30分

場 所：鴨川市役所4階大会議室

出席者：花山藤太郎・山下洋介・高橋松吉・島田誠一・安田景憲・渡辺淳一・清水宣雄・江羅茂・金杉司・栗本昭・森谷宝子・佐藤翔太・里見美佳・北本綾子・小川直久・瀬戸川賢二

事務局：小柴副市長・平川建設経済部長・鈴木スポーツ振興課長・鈴木課長補佐・岡野コーディネーター・関・長谷川・庁内プロジェクトチーム員・（株）ミライノラボJ.V

1. 開会（13時30分）

【事務局】

皆さん、こんにちは。

ご案内をさせていただきました時間となりましたので、ただ今から、第1回鴨川市スポーツを通じた地域振興推進委員会を開催させていただきます。

私は、本日の進行を務めさせていただきます、鴨川市建設経済部スポーツ振興課の鈴木と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、会議資料の確認と、この委員会の要旨等につきまして、ご説明をさせていただきます。

本日の資料は、A4の用紙で、「本日の次第」、「委員名簿」、「席次表」、「スポーツを通じた地域振興推進委員会設置要綱」、それに、別刷りで、資料1（事業の概要）、資料2（スポーツカルチャーコミッション構想）、資料3（業務スケジュール）、資料4（スポーツに関するアンケート調査）、以上でございます。配付漏れはございませんか。

本日の会議でございますが、附属機関等の会議の公開に関する実施要領により、公開で行うとされております。つきましては、本日の会議の傍聴についてお許しいただきますとともに、会議録を作成するため録音させていただきたいと存じます。

なお、会議録につきましては、個人情報等を除いた概要版を公開することとさせていただきたいと存じます。よろしいでしょうか

（異議なしの声あり）

続いて、次第の2になりますが、これから委員の皆様は副市長から、委嘱状の交付をさせていただきます。委員につきましては、設置要項第3条のスポーツ、観光、商工、医療等の分野に公募市民の皆さんを加え、18名の皆様に、第6条の専門部会委員を加えた、総勢21名の皆様に委嘱させていただきます。

どうぞ、自席にてお受け取りいただきたいと思います。

2．委嘱状交付

副市長より委嘱状を委員 21 名（欠員により 16 名）に交付（平成 33 年 3 月 31 日までのもの）

3．市長あいさつ

【事務局】

続きまして、次第の 3 になりますが、小柴副市長から、ごあいさつを申し上げます。

【副市長】

（あいさつ）

4．委員紹介

【事務局】

続きまして、次第の 4、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

本日は、第 1 回目であり、皆様の中には初対面の方もいらっしゃるかと思います。名簿順に、自席で自己紹介の形でお願いできればと思います。

（山下洋介委員から反時計回りで順に紹介）

5．役員選出

【事務局】

それでは、次第の 5 になりますが、本委員会の役員の選出についてお願い申し上げます。委員長が決定するまでの間、副市長が座長ということで、この選出を進めさせていただきますと思います。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

【副市長】

はい。ただ今からしばらくの間、座長の方を務めさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

先ほど、事務局から、説明がありましたが、鴨川市スポーツを通じた地域振興推進委員会設置要綱の第 3 条第 3 項に「委員会に委員長 1 人及び副委員長 2 人を置き、委員の互選によりこれを定める」と記されております。

この規定に基づきまして、今回の委員長そして副委員長をお選びいただきたいと思います。その進行役を務めさせていただきます。それでは、委員長、副委員長をどのようにして決めたらよろしいか、ご意見がありましたらよろしくお願いいたします。

（事務局案がありましたら、お願いしますの声あり）

【副市長】

ただ今、委員から事務局案があるか、というようなご発言がございました。皆様方がでしょうか。

（異議なしの声あり）

【副市長】

それでは、ただ今、ご意見として事務局案ということでありましたので、事務局案、ございますか。

【事務局】

はい。事務局の案をご提案させていただきます。委員長に花山委員、副委員長に島田委員、渡辺委員をお願いしたいと考えております。以上です。

【副市長】

ただ今、事務局案ということで、委員長に花山委員、副委員長に島田委員、渡辺委員ということで推薦させていただきたいという案でございますが、皆様方がいかがでしょうか。

（異議なしの声あり）

【副市長】

よろしゅうございますか。それでは、委員長に花山委員、そして、副委員長に島田委員、渡辺委員、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、私の方の任を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【事務局】

ここで、本委員会の役員が決定いたしましたので、ごあいさつをいただきたいと思います。

（各役員よりあいさつあり）

6．議件

【事務局】

続きまして、次第の6の議件に入らせていただきたいと思います。これ以後の進行は、委員長にお願いを申し上げます。

【委員長】

それでは、ただ今から議長を務めさせていただきますので、委員の皆様のご協力をお願い

いします。はじめに、本日の会議録の確認をしていただく委員を決めさせていただきたいと思いますが、その方法は、私から指名させていただくことでよろしいでしょうか。
(異議なしの声あり)

【委員長】

はい。ありがとうございます。それでは会議録の確認については、名簿の順番に行っていただくこととしたいと思います。本日は、山下委員を指名させていただきたいと思います。

(山下委員より「はい」との返事あり)

【委員長】

次に議事に移ります。本日の議事につきましては、あらかじめお手元にお配りしてございます、会議次第に沿いまして、進めていただきたいと思いますのでご了承願います。

議件の1、事業の概要について、事務局の説明を求めます。

【事務局】

(資料1について、鈴木補佐による説明)

【委員長】

ただ今の事務局からの説明につきまして、ご質問がございましたら、お願いしたいと思います。何かございますか。無ければ、議件の2、今後のスケジュール及び展開について、事務局の説明を求めます。

【事務局】

(資料2について、岡野コーディネーターによる説明)

(資料3について、(株)ミライノラボの田島氏より説明)

【委員長】

ただ今の事務局からの説明につきまして、ご質問がございましたら、お願いしたいと思います。何かございますか。無ければ、議件の3、その他について、事務局からありますか。

【事務局】

・JSTAスポーツツーリズムガイドブック及び第4回JSTAセミナーについて

(JSTA中山氏から)

・11月3日木更津@潮浜公園グローバルハピネスについて(株)

(ミライノラボ阿部氏から)

・資料4 アンケート調査について(ミライノラボ田島氏から)

【委員長】

ただ今の事務局からの説明につきまして、ご質問がございましたら、お願いしたいと思います。無ければ、議事を終了いたします。議事の進行にご協力いただきありがとうございます。

7. 意見交換

【事務局】

ありがとうございました。最後、意見交換に入ります。委員の皆様で、ただ今の説明を聞いて、また、普段、お考えになっていることでも構いません。スポーツを活かした地域振興について、ご意見がありましたら、この際ですので、お願いします。

それでは、順番に指名しますので、よろしくお願いいたします。

(瀬戸川委員)

サイクルツーリズム協会の瀬戸川と申します。

この間も部会で申し上げましたが、こういった取り組みは先進的であり、参考になるような事例もないものと思っています。そういった意味で、ここのメンバーで丁寧に考えていて鴨川流、南房総流のスポーツツーリズムを考えていくのが非常に大事だと思っています。

我々サイクルツーリズム協会でもそうですが、元々広域で作った団体であります。南房総以外にも動きが広がっております。いま、上総の方から色々な仕事の依頼を受けて、外房の方々からもコンタクトをいただいています。恐らく似たようなことがここでも起きるのではないかと考えております。鴨川でそういったモデルができれば、また、広域で共有できたらいいと思っています。

(小川委員)

こういう会に参加して初めて意見を聞かせていただきました。ここの地域がこんなにスポーツのことを考えてくれているのはありがたいです。私はサーフィンが専門です。鴨川や南房総市の方でも大会がたくさん行われていて、今週末もプロジュニアという大きい大会が千歳の方で行われます。こういう大会は、大会だけであって、私も選手としてやっていて現状をみると、あまり地域活性化に繋がっていないような気がしています。せっかくこうした会を発足したのであれば、今後地域活性に対する動きができればいいと思っています。

なかなか細かく言うことは難しいのですが、いかに人をこの地域に集めるか、ということが大事です。ここで発信するこのブランド、ここでしかできないアイデア、というものです。私の頭のなかにも少しありますが、そういうことを今後の会議でディスカッションしていければと思います。よろしくお願いいたします。

(北本委員)

オルカ鴨川 FC の GM を務めています。北本です。

以前プロジェクトチームの話の中でもこういうことは伺っていました。今日改めて皆さんとお会いし、このように町を潤していくというところで、新たな気持ちで私自身もやっていけることに喜びを感じました。また、私もこの地域に来たのは5年目です。オルカ鴨川

FC が立ち上がったのが5年前で、それをきっかけにここに来させていただきました。多くの私の関わるサッカークラブは、地域に対して根付いています。あるいは、それを意識しているクラブもあります。

しかし、少し狭いというか、変な言い方をするとサッカーをやっているところだけ頑張っていて、その他の広い範囲でまちづくりに関わることでできているチームはどれだけあるかということ本当に少ないです。こうした機会をいただいたので、オルカ鴨川 FC の参加で皆さんを喜ばせるだけではなく、あるいは元気ですということだけでなく、何か他の形であってもこういうところに出席させていただいたり、選手達自身もサッカーを通してまちづくりに貢献していただけたら、と今日改めて感じました。

あとは、大まかなやるべきことを今日伺った中で、私自身もこれに対してしっかり取り組んでいき、多くのアイデアを出せるように日頃からしっかりアンテナを張って、色々なところで色々な経験を積み重ねて貢献していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

(里見委員)

こんにちは、城西国際大学の学生の里美と申します。よろしくお願いします。今回委員として呼ばれて学生からの視点で貢献していければと思っております。

今回話を聞いて鴨川のスポーツの今の課題などもよく分かりました。確かに、土日メインのマリンスポーツは多いと思います。平日のイベントが少ないと思うので、小さいイベントでも、少人数のイベントでも、コツコツ身近にスポーツを感じていただけるようなイベントをたくさん開催していったらよいと思います。

私は出身が福島です。鴨川のことを全然知らなかったのですが、今鴨川に住んで3年が経ち、3年住んでもまだ知らないスポーツイベントや「こういうものもやっていたんだ」というのがたくさんあります。そう思うと大学にもそういう情報が回ってきていません。一般市民の方達にそういう土日のイベントの情報でさえも、あまり伝わっていないような気がします。情報発信や宣伝というのも今後の課題ではないかと思いました。今後委員として貢献していきたいと思います。お願いします。

(佐藤委員)

こんにちは、佐藤翔太といいます。

僕は一般市民ですが、個人的にパラスポーツでパラアイスホッケーをやっています。スポーツの誘致で、ある程度絞るというお話がありましたが、例えば僕らは普通のバスケットをできないのですが、健常者の方は車椅子に乗れば車椅子バスケットができると思います。

そういう形で健常者の方もできるようなパラスポーツを、力を入れて誘致したら今後もみんなと一緒になにかできるのではないかと、思います。だれでもできるようなスポーツが広まればよいと思っています。将来的に移住定住もそうですが、みんなの住みやすいまちになっていけばスポーツを通じた地域振興に繋がるのかなと思いました。

自分が車椅子なので、そういうところの目線で貢献できればいいと思っていますので、よろしくお願いします。

(森谷委員)

一般市民枠の森谷と申します。

岡野さんからのお話で思ったのですが、スポーツという考え方の枠を少し広げて、もっと幅広い風に取り上げていったらどうかというお話がありました。

私も地域の方達と触れ合う機会もあります。地域の文化であったりとか、日本の文化であったりとかそういうこともやっていますので、そういうこととコラボレーションし、そういうスポーツのあり方も広めていけたらと思いました。すでに地域で活動している方達と横の繋がりがもっと増えて、繋がる機会があったらいいと思っております。よろしくお願いいたします。

(栗本委員)

うちのクラブは、十何年前から少年野球を含めて、全てのスポーツ関係、それから文化関係に支援しております。

ここの席は、これを事業と結び付けようという考えがあるような気がしてなりません。しかし私どもは奉仕団体ですので、事業関係の話はどうも合わなくなってきました。

しかし、こういうスポーツを通じて何かイベントをやる、それを奉仕という形であれば、私どもはご協力できると思います。ただし事業と結びつけることは私どもはできません。そのところをご理解よろしくお願いします。

(金杉委員)

鴨川青年会議所の金杉です。

色々なものとスポーツを繋げるというところで、会議所でも5、6年前にゴミ拾いはスポーツだという形で行った経緯があります。

実際そういうことをやっても一番難しいのは市民の方を巻き込んでいくことです。色々なイベントをやる中で、市民の方と一緒にやっていこうということになりますが、なかなかうまく直結しないというのが課題です。皆さんと色々な意見を出しながらやっていかないと難しいと思うので、そこも考えていければと思います。

また、先ほど城西の学生さんからも出た通り、鴨川市の弱点である広報は、よその行政から見るとはっきり言って広報下手と言われても仕方ない部分かとは思いますが、そこに関しても変えていかなければならないと思います。私達もアイデアを考えて、持って来られればよいかなと思いますので、よろしくお願いします。

(江羅委員)

なかなか難しい問題で、スポーツを通じていかに地域振興するかという事業だと理解しました。しかし、一長一短にいくものではないと認識しています。何を以て振興というのかも考えなければいけないし、鴨川と言えばこういうスポーツというものをつくるには相当な時間がかかると思いますので、何を以て振興という定義を少し作る必要もあるのかなと思ったりもします。

我々は医療大学ですので、色々なことを模索しているのですが、さきほどもお話がありましたが、障害者の方に優しいまちづくりとか、すなわちパラに近づけるような環境づくりというのも、あまり取り組まれていないことなのかなという話も大学の中ではしております。色々なアプローチの仕方があると思いますので、今後こういう機会等々を通じて意見を述べていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（清水委員）

武道大学の清水でございます。私は武道大学というよりは、いち鴨川市民として、何かのお役に立てればと思っております。そういう観点で話をすると我々武道大学は、スポーツを通じて社会を豊かにすることをうたっております。そういう意味ではまさしくこのような活動に関わらせていただいているということを非常にありがたく思っております。

今日のお話の中で、総合運動施設の管理を総合的に行う組織を立ち上げるというお話がございましたが、できましたらそこはもっと枠を広げていただいて、鴨川市の持っている全ての運動施設を総合的に管理をしていくということをやっていただければと思っております。それは施設の鍵の管理とか、そういうことだけではなく、例えば鴨川市の現状のスポーツの活動を見てみますと、例えば私も10年くらい前は、地元のスポーツ愛好会のようなところに入って、年に数回ですが、試合をしたりということもしておりました。私の妻もバドミントンをやっていて、10年くらい前まではあちこちでバドミントンの活動をしておりましたが、それがどんどん先細ってどんどん年齢が上がって行くと、無くなっていってしまうというのが現状です。

そういうものをどのようにして維持していくか、場合によっては若い人とやりたいと思っている人もそういう場がなくなっています。もっと言えば、子ども達のスポーツをする場というのもどんどん無くなって行くのではないかと、という危惧さえしております。そういうものも含めて考えていただくと、またスポーツというものにあまり関心のない一般の方々でも健康には非常に興味がある人はたくさんいらっしゃると思うのですが、そういう方々をいかに、「いやいや、それあなたがやろうとされていることはスポーツですから」というような認識をお持ちいただいて、健康を向上させるための活動がスポーツなんですよという意味で、一緒にやっていただくようなことを考えていただくと、いわゆるシニアと言われる方々も入っていただけるような活動になっていくのではないかと思います。

（渡辺副委員長）

岡野さんのほうで発表があって非常によくまとまっているなと思ったのですが、たぶん専門的な話になって申し訳ないのですが、このウェルネスという概念は、健やかな心身と地域との共生、それに加えて、環境調和というのがウェルネスの本来の概念です。

世間一般にウェルネスといった場合、ようやく健やかな心身が定着し始めた。そういった意味で、地域との共生という視点から、市民を巻き込んだ、市民とともにスポーツをやるというのは非常に大事な概念に繋がっていきます。そういった意味で、環境に関してはまだ十分に述べていないのだと思うのですが、さきほど清水先生がおっしゃったように、まさに健康を目指したスポーツというのも非常に重要な要素だと思いますので、医療とい

う概念が少し抜けているかなと私も思いましたので、その点をご検討いただきたいと思います。

質の高い日常という言葉がありますけれども、これは我々にとっては日常だし、外部の方から見ると非日常というよりも、異なった日常という捉え方が今なされていますので、たぶん日常という言葉と非日常という言葉は、外部の方にとっては非日常、我々にとっては日常というふうに理解していただけるといいかなと思いました。

（安田委員）

鴨川観光プラットホームの安田でございます。

新しく作られる仮称のスポーツコミッションは、大変プラットホームとしても期待をしております、是非観光とスポーツは非常に親和性のあるテーマでございますので、車の両輪のごとくですね、一緒に目的に向かって邁進していきたいと感じております。

それとスポーツという捉え方は、私の年代以上になるとアタックナンバーワンとか、巨人の星とか、ど根性という形で、スポーツと言うと一般の方が参加しにくくなってしまう。健康イコールスポーツのような、いまいろんなトレンドがありまして、ライザップのような運動といいますか体を美しい形にしていくと、ダイエットまでスポーツまで含めていくといいのではないかと思います。とにかく健康に結びつくというところでどんどん敷居を低くして、たくさんの方に興味を持っていただくような形をとることが重要ではないかと考えております。

それといろんなスポーツ大会や団体がありますが、鴨川市単独では、面積では狭いというか、例えばトライアスロンのような広域を駆け巡るようなスポーツサイクルもそうなのですが十分ではないということで、館山市、南房総市、富津市、鋸南町などで連携してやっていくのがよいのではないかと思います。そんな中で今回のスポーツコミッションがお手本というかパイオニア、先駆者として立ち上がって行くことを是非お願いしたいと思っております。

（島田副委員長）

このスポーツ、文化、観光を掛け合わせる展開、また、まちづくりの核となるということで、他分野との連携というようにところに、非常に関心、興味を持ちました。商工会として、また、個人として非常に興味を持ちました。

今年度中か、来年早々には、このカルチャーコミッション、組織が設立しそうでございますので、非常に期待しております。商工会としても是非早々に進めていただきたいな、と思っておりますので、是非会の方で協力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

（高橋委員）

サイクルツーリズム協会の高橋と申します。

今回のスポーツコミッションを立ち上げるということ、私自身とても期待しております。というのは、自転車は広域にわたって繋がりを持って行かないと、鴨川だけでは難しいので、そういう中で核となるところがこれからできるというふうに期待しております。

自転車に関してですが、地元の人にはよく分からないと思うのです。私は長年、自転車をやっています、全国各地を歩いています。首都圏に近く、これほど自転車で走る環境の整った場所はありません。

そういう意味でも、地域活性化のためにスポーツコミッションをいい方向に持って行っていただければいいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(山下委員)

鴨川市のスポーツ推進委員の山下と申します。

今、冒頭で話しました、スポーツの振興、推進という役目で20何年間やってまいりましたけども、岡野さんから色々、今回の事業につきましてご説明いただきましたが、大変私達の悩んでいる部分と共通するところと大きいと思いました。

例を挙げますと、文化の、15年前ですか、総合型のスポーツクラブを日本全国に作ってくれという動きがありました。どういう形かというのは、スポーツと文化を合わせて、地域とコミュニケーションをはかってくれというものです。それを主体とした、いわゆる総合型を作ってきたわけです。鴨川では、今オーシャンクラブという、実際にお金を払ってスポーツをやるクラブです。競技題目は10種目ぐらいあります。どなたがいつ、どのスポーツの競技に出てもいいというスポーツです。なかなかお金を払ってスポーツをやるのは難しいかなと思いましたが、おかげさまで、今150何名の家族会員を含めた会員がおります。

それと、今日の話とは別になりますが、色々過去を振り返ってみますとウォークラリーの財団が、旅館組合等が主体となってウォークラリーをひとつ観光事業に使ったらどうかということで、確か10年ぐらい前にやられたことがあります。宴会の席上で表彰式をやって盛り上げると、地域のコミュニケーションができます。それぞれ鴨川市の名所を回らせて、帰ってくるという事業です。それから千葉県が九十九里をはだして歩こうというものもやりましたが、これも5、6年やったら消滅してしまいました。

一時は千葉県が県外からもバスが約500台くらい、九十九里をはだして歩きましたけれども、これも何のためにやったのかな、と思います。やはり地域のコミュニケーションと国民の健康維持というような発想で千葉県がおやりになったのですが、いつの間にか、消滅してしまいました。なのはな体操もしかりです。我々も一生懸命講習を受けて、やりましたけれども、いつの間にか消滅してしまったというのが現状です。

それから合宿の話も色々出ました。私もスポーツをやっている関係上それまでの学校を通じて色々14団体が昨年度鴨川に来て、宿泊して稽古したり交流を深めたり色々やってきました。その中で一番多いのが土曜、日曜日です。普段はなかなか仕事をしていて来られないという観点もございます。岡野さんからやはり平日のご予約、これが一番大事だということでした。

スポーツだけではなく文化も大事だということを改めて感じております。こういったせっかくのプロデュースですから、なんとかお手伝いをして前に進めていっていかれたら感じております。ひとつよろしく、ご指導お願いします。

(花山委員長)

オルカ鴨川の北本さんがいらっしゃいますが、これが昨日の房日新聞に載ってまして、これがいわゆる今日の課題に近いような形の文章になっているのではないかと思います。

オルカがあり、それから高校生のチームが鴨川に合宿に入っています。その宿泊場所が、送迎のバスを出して、交通、高速代金などは学校側が出します。感謝の意味で海岸清掃を高校生がしていて、お互いにギブ＆テイクみたいなモデルになっています。これに近いような感じではないでしょうか。

また、私は体育協会を代表しています。基本的に、私も体育協会をやっている中で、体育に優れていくということは人間は動物ですから、動物にどんどん近づいていっています。これはいわゆる超アスリート達っていうのがほんとに動物に近い感じであるのです。その方達が自分の現役の時に鴨川はいい場所だな、とずっと褒めてもらってきたのですが、やっとこの歳ぐらいになりまして、目の中に入るこの峰岡山系と清澄山系、それと海ですね、長狭の奥の方から見ていきますと、それでちょうど目の中に綺麗に入って癒されていく。精神的に疲れていても、走ってもそんなに疲労感がなくなるとか、そういう方面でカバーされているような感じがします。

今は道路も舗装されていますが、私も育っていたときはほとんど未舗装の場所で砂利道だとか、たんぼの周りも走って回れました。今のグランドホテルさんの前の松林なんかほとんど真ん中に家がありませんでしたので、あれがクロスカントリーみたいな走り方をしたり、陸上だけじゃなくてほかの野球でも何でも、みんな走っていました。これから後期高齢化に基づきましてだんだん少子化になっていき、鴨川の定住人口も減っていると、少子化のために減っていったらと思うのです。

それを防いでいくためにはやはり子ども達にこの自然環境のなかでスポーツではなく運動を、泥んこ遊びでも玉投げでもたんぼの中でやるとか、稲刈りとか田植えとか、海に行ってひじき狩りでも手伝うとか、そういうような遊びとミックスしたような形で。そうすると年配者が田植えしたりひじき狩りしたりして手伝いは子ども達がございます。子ども達は褒められればまた来年もやってやろうという前向きな気持ちになってくれると思います。

鴨川の優しい自然と、優しい気持ちを利用していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

8. 閉会

【事務局】

ほかにご意見等ございますか。無ければ、意見交換を終了いたします。ありがとうございます。

なお、次回会議は、12月15日(土) シンポジウムと併せて予定しております。又、ご案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

今日は、長時間にわたりご審議をいただきましてありがとうございました。以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

1 4時45分 終了

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をしました。

平成30年12月19日

会議録署名人 氏名 山下 洋介